

三四会横浜支部

令和元年度三四会横浜支部（横浜三四会）総会が、11月20日(水)横浜駅西口ベイシェラトンホテル&タワーズで開催された。当日は三四会本部から古梶清和副会長（63回）、医学部から武林亨医学部長補佐（68回）、増田純一川崎三四会会長(53回)、町田三四会中西泉会長(51回)藤沢三四会から小林誠一郎先生(73回)に加え、地元横浜三田会との連携を目的として横浜三田会会長の上野孝氏と星野幸彦氏を来賓としてお招きした。会員総数 775 名中 110 名（開業および他地区勤務医 43 名、勤務医 67 名）の会員が集い、来賓や応援指導部等を含め 127 人が参加した。「新生横浜三四会」としては 13 回目だが、鈴木彰会長(内 51 回)就任後初の、記念すべき総会であった。また当日の午後、塾野球部が明治神宮大会決勝を制して日本一を勝ち取って直ぐの開催であり、心躍らせる総会となった。済生会横浜市東部病院副院長で本会役員の後藤淳(内 67 回)が当日の司会進行を務め、けいゆう病院副院長松本秀年(外 65 回)の宣言で開会した。

鈴木会長から、三四会支部としては最大の会員数であるが更に会員の結束を求め、横浜三田会との連携を深め、ホームページ充実のために会員の協力を要請するという挨拶があった。次いで古梶三四会副会長が『三四会』という名称の起源と歴史の紹介と、明 2020 年の三四会百周年の準備状況を述べられた。武林医学部長補佐は医学部・病院の新執行部の紹介に加え、キャンパス・新病院の近況を述べられた。その後上野孝横浜三田会会長にご挨拶頂き、三田会の中で最も歴史がある横浜三田会と三四会の中で最大の横浜三四会が協力することの意義を述べられた。

庶務・会計報告・故人黙祷の後、講談師で塾員(昭和 47 年商卒)でもある若林鶴雲師匠による、『慶應名應援歌誕生物語』という講談を拝聴した。『若き血』誕生の秘話と早慶戦での勝利、歌唱指導したのは当時普通部 3 年の藤山一郎氏であり、その後『踊る太陽』『三色旗の下に』等の製作と藤山氏の足跡をテンポの良い講談で語って頂いた。会場からのアンコール要請もあり、『東京オリンピック開会式』という短い熱い感動の講談も披露頂き、参会者一同固唾を呑んで聞き惚れた。参会者には講談の画像と音声を、後日 CDR で配布される予定である。座長は本会役員の前田清和が務めた。

講演後、三田塾監局より拝借した最大の塾旗を仰ぎ、神宮球場から馳せ参じた塾応援指導部員の下、塾歌斉唱を行い、八十島唯一名誉会長(前会長、産婦 37 回)による熱い言葉の乾杯のご発声で開宴した。34 回生の大先輩から 98 回生の新卒者までが集う会であったが、研修医に対しての会費の割引効果からか、90 回以降の若い卒業生が 22 名と例年以上に多く、会場は若い出席者の熱気に包まれた。また目黒から島崎(眼 66 回)、川崎から金井(外 59 回)・市東(外 67 回)等他地区の朋友の参加もあり、華やかで和やかな雰囲気であった。

締めとして、4 名のチアリーダーをバックに、2 名の応援指導部の指揮による、応援歌「若き血」「三色旗の下に」に続いて肩を組んで「丘の上」を歌い、最後の「慶應讃歌」は 3 番まで歌い上げ最高潮となった。横浜市大血液内科教授中島秀明(66 回)の閉会の辞で興奮冷め遣らぬうちの散会となった。

出席者：上野(横浜三田会)星野(横浜三田会)八十島(37) 鈴木(51)若林鶴雲師匠、古梶(63)武林(68)増田(53)小林(73)中西(51)竹内(36)岩田(41)八木(41)亀田(43)西川(43)鈴木(44)川城(45)杉浦(46)宮地(48)郡(49)吉田(49)吉田(49)安藤(50)坂巻(50)中原(50)内藤(50)明石(51)佐々木(52)渡辺(52)中村(53)中村(54)鈴木(54)久保内(55)中野(55)永田(56)前澤(56)和泉(57)上田(57)徳田(57)吉村(57)石原(58)城(58)山下(58 相当)金井(59)中島(59)宮田(60)三角(60)藤井(60)島崎(61)山下(62)吉田(62)田口(62)永見(63)江端(64)藤田(64)長島(64 相当)松本(65)齋藤(65)野村(65)山根(66)佐藤(66)中島(66)後藤(67)畑(67)増山(67)市東(67)河原(68)山下(68)安井(69)松田(69 相当)佐藤(72)一色(72)佐藤(73)仲里(74)山崎(74)関(74)川口(74 相当)江川(74 相当)井上(75)吉井(75)小杉(76)内村(76)船曳(76)菅野(76)齋藤(76)松崎(77)荒瀬(79)原田(79 相当)小野瀬(79 相当)内藤(80)持丸(82)三木(83 相当)佐藤(84)山田(87)八木(87)藤井(88)平田(90)鈴木(92)今枝(94)太田(94)松村(95)久保(95)関口(95)角田(95)岡(95 相当)麻生(96)伊藤(96)中尾(96)相原(97)峯本(97)谷口(97)新部(97)栗田(97)木塚(98)石川(98)太田(98)鳴釜(98)吉田(98)計 118 名応援指導部 6 名全 124 名。

久保内光一